

# 環境経営レポート

(運用期間: 2022年8月1日～2023年7月31日)



## 株式会社 SANKI

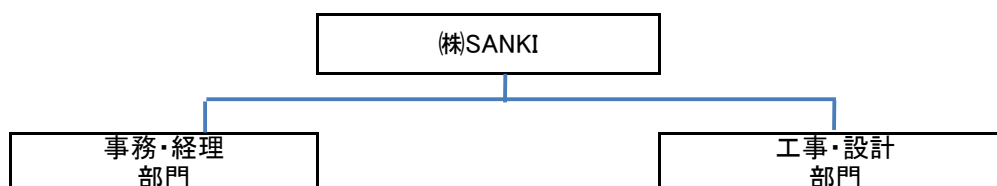
作成日: 2023年10月31日

# 目 次

I. 組織の概要	.....	P 1
II. 実施体制	.....	P 2
III. 環境経営方針	.....	P 3
IV. 環境経営目標	.....	P 4
V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容と評価	.....	P 5
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	.....	P 8
VII. 環境負荷の実績(グラフ)	.....	P 9
VIII. 次年度の環境経営計画	.....	P 10
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無	.....	P 11
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	P 12

# I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社 SANKI
2. 代表者氏名 芦澤 剛彦
3. 所在地 410-0041  
静岡県沼津市筒井町17-2
4. 事業活動 公共下水道工事  
機械設備工事(給排水衛生設備工事(給排水衛生設備・空調換気設備)  
浄化槽設備工事、ガス設備工事、リフォーム工事
5. 従業員数 17名
6. 環境管理責任者 芦澤 剛彦  
連絡担当者 芦澤 真理
7. 連絡先 TEL (055)-922-9804  
FAX (055)-922-4481  
(E-mail: info@numazu-sanki.com)
8. 建設業許可  
建設業  
静岡県知事許可(般-4) 19309号  
静岡県知事許可(特-4) 19309号  
産業廃棄物収集運搬業許可 ※自社運搬のみ  
第2201132257号
9. 事業の規模  
① 設立(現在地) 1982年8月  
  
② 事業規模 資本金: 2,000万円  
敷地面積: 165.04m<sup>2</sup>  
延べ床面積: 195.4m<sup>2</sup>  
売上高: 329百万円
10. 事業年度  
8月1日～翌年7月31日
11. レポートの運用期間及び発行日  
環境経営レポート運用期間(2022年8月1日～2023年7月31日)  
環境経営レポート発行日(2023年10月31日)
12. 認証・登録の対象範囲  
活動: 建築設備業、管工事全般  
対象組織: 本社(事務・経理部門、現場部門)

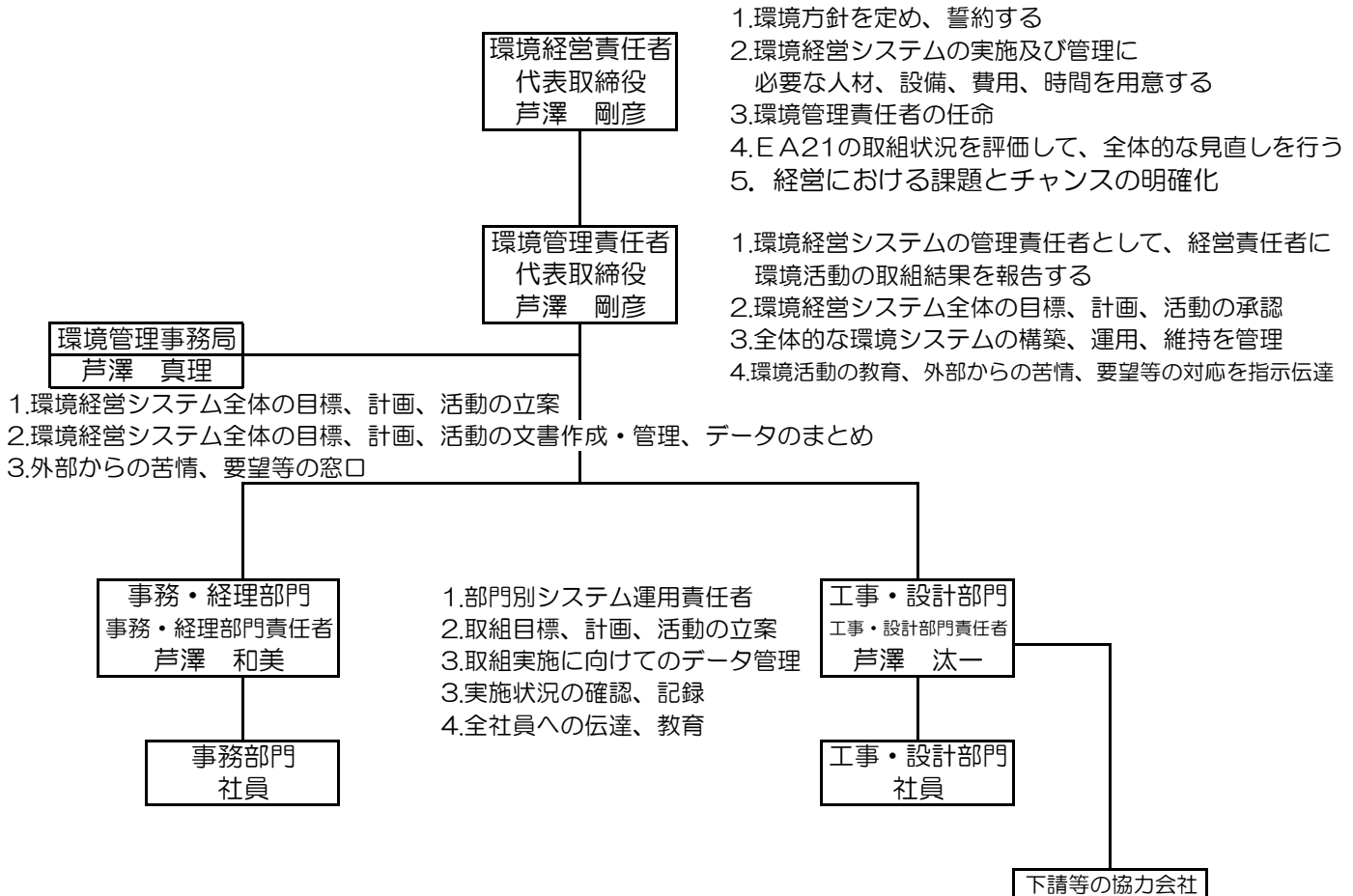


## Ⅱ 実施体制

作成日:2023年10月31日

作成者:芦澤 真理

対象範囲:本社、駐車場



## Ⅲ 環境経営方針

### 《企業理念》

**SANKIは安心しておいしく飲める水道水を安定的に供給します**

SANKI 3つの行動 SANKIはお客様から高い信頼を得るために、常に挑戦・行動します。

SANKIは社業を通じ地域社会に貢献します。

SANKIはお客様・地域社会に信頼される誠実な企業を目指します。

### 《環境理念》

株式会社 SANKIは、管工事業の業務全般に於いて、地域環境の保護、環境保全を考慮した作業、並びに循環型社会への構築に努めて、地域社会に貢献できる企業を目指します。

### 《環境方針》

1:事業活動の環境への影響を考え、経済的・技術的に可能な限りで環境保全活動の継続的な改善に努めます。

2:環境保護・環境保全及び環境負荷の削減・改善を図る為に、次の環境配慮活動に努めます。

1)二酸化炭素排出量の削減

節電・エコドライブに積極的に取り組む

2)廃棄物排出量の削減

資材を効率よく使用し、廃棄物の減少(Reduce)再使用(Reuse)再生利用(Recycle)の3Rに取り組む

3)水使用量の削減

節水商品の活用・提案に努める

4)環境に配慮した工事

再生利用(Recycle)出来る資材の提案・使用に努める

再使用(Reuse)出来る資材の活用

5)再生材の利用及びグリーン購入を積極的に実施する

3:環境に関する法規制、同意した要求事項を順守し、地域社会との調和に努めます。

4:全社員が環境方針を周知し、環境意識の向上と環境活動に継続的に取り組みます。

制定年月日 2007年10月1日

改定年月日 2019年3月1日

株式会社 SANKI

代表取締役 芦澤 剛彦

## IV 環境経営目標

### 1. 運用期間(2022年8月～2023年7月)及び暫定期間(2023年8月～2024年7月)の環境目標

項目	単位	基準期間	運用期間	
		2021年8月 ～ 2022年7月	2022年8月 ～ 2023年7月	
		基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	13,247	-1%	13,115
内訳	電力	kWh	-1%	17,024
	ガソリン	L/百万円	-1%	7.77
	灯油	L		0
	プロパンガス(LPG)	kg		0
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	50,845	-1%	50,337
内訳	電力電力	kWh		0
	ガソリン	L/百万円	-1%	44.12
	軽油	L/百万円	-1%	29.01
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	-1%	0.36
	産業廃棄物排出量(混廃)再資源化率	%	+1%	71.00
水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	実績把握	実績把握	実績把握
建設資材、事務用品のグリーン購入率向上 購入金額	%	購入金額の41%	+1%	実績把握
環境配慮型製品の推進	件	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入

※二酸化炭素排出量の総量については、工事の内容量によって大きく変動する為、目標は設定せず、実績把握のみとする。

※環境配慮型製品の推進については、目標値の設定が難しい為、耐震性設備・環境配慮型製品の積極的な推進をはかっていきたい。

### 2. 中期の環境目標


項目		単位	基準年度	目標年度				
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
			2021年8月 ～ 2022年7月	2022年8月 ～ 2023年7月	2023年8月 ～ 2024年7月	2024年8月 ～ 2025年7月	2025年8月 ～ 2026年8月	
二酸化炭素排出量(事務所)		kg-CO <sub>2</sub>	13,381	-1%	-2%	-3%	-4%	
内訳	電力	kWh	17,370	-1%	-2%	-3%	-4%	
	ガソリン	L/百万円	7.85	-1%	-2%	-3%	-4%	
	灯油	L	0					
	プロパンガス(LPG)	kg	0					
二酸化炭素排出量(建設現場)		kg-CO <sub>2</sub>	50.845	-1%	-2%	-3%	-4%	
内訳	電力電力	kWh	0					
	ガソリン	L/百万円	44.57	-1%	-2%	-3%	-4%	
	軽油	L/百万円	29.30	-1%	-2%	-3%	-4%	
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.36	-1%	-2%	-3%	-4%	
	産業廃棄物排出量(混廃)再資源化率	%	70.00	+1%	+2%	+3%	+4%	
水道使用量の削減		m <sup>3</sup>	実績把握	-1%	-2%	-3%	-4%	
建設資材、事務用品のグリーン購入率向上		%	購入金額の41%	+1%	+2%	+3%	+4%	
環境配慮型製品の推進		件	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入	



1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(令和3年度)の調整後排出係数「0.443kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用した。

2. 電気使用量及び化石燃料使用量、産業廃棄物総排出量の単位はそれぞれの数量を売上高(百万円)にて算出した値を用いる。





## Ⅴ 環境経営計画に基づき実施した取組内容と評価

目標	実施項目	対象	実施スケジュール												評価
			2022年					2023年							
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
<div>電気使用量の削減</div> <div></div>	不要照明・不在時のこまめな消灯	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			不在時の消灯徹底、屋外夜間照明に消忘れ防止タイマー及び防犯用照明の人感センサー設置												○
	社内照明器具のLED化	事務所													○
	空調温度の設定 冷房26℃ 暖房22℃	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			設定温度表示の掲示、スクロールカーテン活用による遮熱・断熱効果実施 継続的に実施する												○
	空調機の定期的な保守管理	事務所	<div>○<span>.....→</span>○<span>.....→</span>○<span>.....→</span></div> <div>清掃・点検 清掃・点検 清掃・点検</div>												○
	PC・プリンター等の待機電力の削減（退社時、外出時）	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的に実施する												○	
クールビズ・ウォームビズの励行	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現場	熱中症対策用に空調服を購入、配布												○	
<div>化石燃料使用量の削減</div>	エコドライブの励行	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現場	掲示物等や打合せ時にて社員への徹底、アイドリングストップの徹底、積載物の軽量化促進												○
	車両の定期的な点検・整備実施	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現場	車両ごとに点検者を決めて各自にてタイヤの空気圧・エンジンオイル等を点検、不良・不備な箇所があった場合は速やかに修理依頼を行っている												○
	建設機械のエコ運転実施	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			こまめなエンジンOFF、低騒音・低排気ガス機械の採用及び使用徹底、作業効率の向上計画検討実施 作業員に指示徹底												○
	EV・ハイブリッドカーの導入	事務所	5台導入で継続しています												△
		検討期間													

目標	実施項目	対象	実施スケジュール												評価
			2022年					2023年							
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
<div>廃棄物排出量の削減</div> 	建設廃材等の分別の徹底	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			現場にてゴミBOXごとの分別実施、会社BOX投入前に分別する意識を高め、徹底												○
	建設余材の再利用化促進	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			余材のストック・再利用の徹底、仮設材の再利用実施												○
	再生資材の活用	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			再生砕石・再生砂・再生アスコン等の採用及び使用徹底												○
	機器・資材梱包の最小限化	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<div>水使用量の削減</div> 			納入業者への徹底												○
	コピー用紙の両面化	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			裏紙使用や両面印刷でコピー用紙削減 継続的に実施する												○
	ペーパーレス化	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			コピー用紙の削減、Eメール、ういの活用、iPadの導入												○
	節水の意識を高める	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			節水表示実施、節水ITへの取替実施												○
	河川水・雨水の活用	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			現場作業時使用する散水・雑用水は可能な限り河川水や雨水を利用												○



目標	実施項目	対象	実施スケジュール												評価
			2022年					2023年							
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
グリーン購入の推進	  グリーン購入品の検討・調査・購入の実施	事務所	<div>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</div>												<div>○</div>
必要な物の検討、事務用品・紙類・文具等はグリーンラベル表示などを確認しながら購入している。															
継続的に実施する															
環境に配慮した製品の推進	環境配慮型製品を提供する	事務所	<div>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</div>												<div>○</div>
継続的に実施する															

## VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

### ①運用期間(2022年8月～2023年7月)の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2021年8月 ～ 2022年7月	2022年8月 ～ 2023年7月				
			基準値	目標 削減率	目標値	実績 削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量(事務所)		kg-CO <sub>2</sub>	13,381	-1%	13,247	-54%	6,217.00	○
内訳	電力	kWh	17,370	-1%	17,196	-54%	7,931.00	○
	ガソリン	L/百万円	7.85	-1%	7.84	-55%	3.53	○
	灯油	L	0		0			
	プロパンガス(LPG)	kg	0		0			
二酸化炭素排出量(建設現場)		kg-CO <sub>2</sub>	50,845	-1%	50,337	17%	59,409.43	×
内訳	電力	kWh	0		0			
	ガソリン	L/百万円	44.57	-1%	44.12	12%	49.72	×
	軽油	L/百万円	29.30	-1%	29.01	-14%	25.08	○
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.36	-1%	0.36	-38%	0.23	○
	産業廃棄物排出量(混廃) 再資源化率	%	70.00	+1%	71.00	1.52%	72.10	○
水道使用量の削減		m <sup>3</sup>	実績把握		実績把握		51.00	—
建設資材等のグリーン購入率向上		%	購入金額の41%	+1%	41.00		63.44	○
環境配慮型製品の推進		件	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入		積極的推進、導入	○

＜備考＞削減比率は、基準値に対する削減量の割合である。また、目標未達でも前年度より削減の場合は「△」とする。

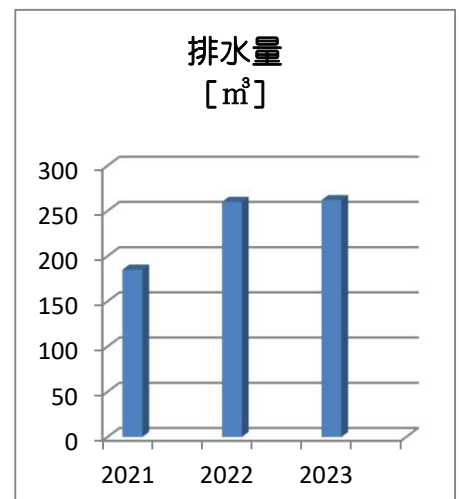
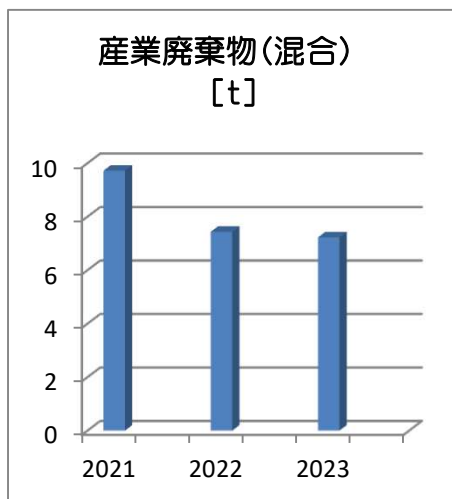
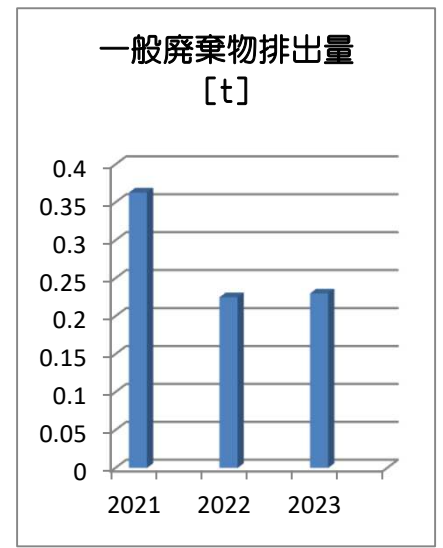
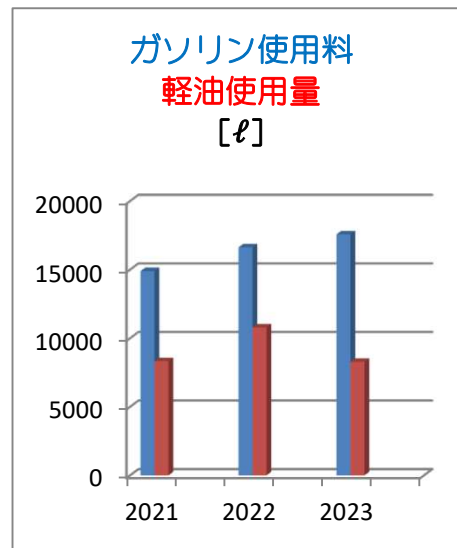
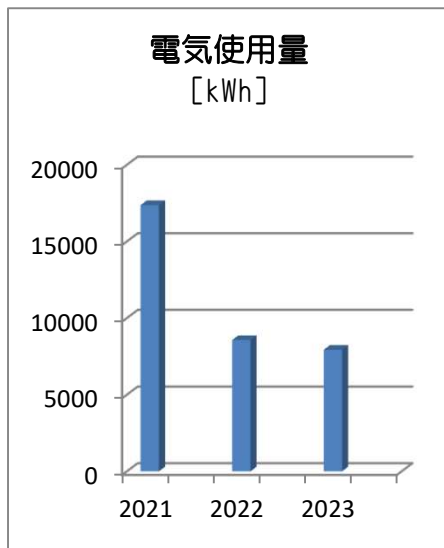
### ＜評価と是正＞

二酸化炭素排出量	原因	①建設現場でのガソリンの使用量が増加した。 ②単発のお客様の依頼の増加により、多方面への移動や、回数も増えている。 事前に計画を立てた現場への工事が困難。
	是正	現場の場所により変動が大きいため引き続き経過を見ていく。

### ②次年度の環境経営目標

変更なし

## VII 環境負荷の実績(グラフ)



## VIII 2021年度の環境経営計画の評価と、次年度の計画

(運用期間: 2022年8月～2023年7月)

目的	区分	項目	活動項目	評価		今後(次年度)の取組
				評価	内容	内容
電気使用量の削減	購入電力	照明	① 不要照明・未使用時のこまめな消灯	○	掲示→徹底されている	継続実施
			② 社内照明器具のLED化促進	○	実施された	—
		空調	① 空調設定温度の厳守(冷房時26℃・暖房時22℃)	○	表示→徹底されている	継続実施
			② 空調機の定期的な保守管理	○	フィルターの定期清掃	継続実施
		その他	① PCの待機電力の削減(未使用時は電源OFF)	△	朝礼などで声掛け	継続実施
			② 昼休み時間稼働停止	△	休憩時間は稼働しない	継続実施
			③ クールビス・ウォームビスの励行	○	空調服を購入、使用	継続的に使用
化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油	乗用車・トラック	① エコドライブの励行(アイドリングストップの徹底、空吹かし・急発進・急加速を禁止)	○	表示、打ち合わせ時に手徹底	継続実施
			② 車両の定期的な点検・整備実施(エンジンオイル、タイヤの摩擦状況・空気圧確認)	△	日常点検徹底、チェック表など作成	継続実施
		重機	① 建設機械のエコ運転実施(こまめなエンジンストップ、綿密な作業計画の徹底)	○	朝礼時、注意喚起	継続実施
			② 社用車の新規買い替え時、ハイブリッドカー導入	○	社用車1台買い替え	継続実施
廃棄物排出量の削減	事務所	事務	① コピー用紙の両面化(作成書類を可能な限り両面化する、用紙の削減)	○	裏紙使用	継続実施
			② 可能な限りのペーパーレス化(打合せ用プロジェクター導入、Eメールの活用)	○	ドキュワークスの導入	運用開始予定
	建設副産物のリサイクル	現場	① 建設廃材等の分別の徹底(金属・コンクリートがら・木くず・廃プラ)	○	各現場のBOXで分別	継続実施
			② 現場施工時、余材の再利用化	○	朝礼時、徹底	継続実施
			③ 再生利用資材の活用(再生砕石、再生砂、AC再生材等)	○	朝礼時、徹底	継続実施
			④ 機器、資材の搬入時梱包材の最小限化	○	納入業者への指示、徹底	継続実施
水使用量の削減	上水		① 節水の意識を高める	○	表示OK	継続実施
			② 節水コマの取替え実施	○	取替え済み	継続実施
			③ 現場での散水・雑用水は河川や雨水の利用	○	現場での可能な限りでの利用	継続実施
グリーン購入の推進	事務用品他		① 環境ラベル対応品の購入	○	適合品の選定、優先的に購入	継続実施
環境配慮した製品の推進	現場		① 節水型便器や高効率型給湯器、エコキュート等の環境に配慮した製品の提案・販売	○	随時	継続実施
			② 公共工事における創意工夫の提案を積極的に行う。	△	検討、実施	継続実施
地域貢献			① 町内の清掃参加	○	筒井町公園の清掃参加	継続実施
			② エコ活動検討	○	備品等リサイクル徹底	継続実施

<備考>

評価判定: ○(良くてきた) △(まあまあできた) ×(できなかった) -(実施が見送られた)

## Ⅹ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

### 1.環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2023年7月31日

評価者 環境管理責任者 芦澤 剛彦

法規・条例・規制	規制概要	活動項目	遵守状況	遵守評価
廃棄物処理法	事業者の責務	廃棄物の適正な処理	ごみの分別処理及び保管場所・仮置場の確保	○
	産業廃棄物の処理・委託基準	収集運搬は許可が必要	許可有効期限の確認 許可番号の表示 委託処分業者との契約書の有無	○
		収集運搬車の許可表示	許可番号の表示	○
		処分業者との委託契約	委託処分業者との契約書の有無	○
	産業廃棄物管理票	マニフェスト作成	マニフェスト管理状況	○
		適合マニフェストの交付	マニフェストの交付義務	○
	産業廃棄物の保管	保管場所の表示	廃棄物種類、責任者表示の有無	○
	産業廃棄物管理票交付状況の報告	マニフェストの交付状況を県知事に報告が必要	報告書作成し、年に1度提出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置	委託先の実地確認と記録の保管	現地確認記録の保管	○
沼津市における廃棄物の処理及び清掃に関する規則	沼津市指定ゴミ袋の使用及び分別	沼津市指定ゴミ袋を使用し、ゴミの分別を行う	事業者用の指定ゴミ袋の使用及びゴミの分別	○
建設リサイクル法	請負物件に関する届け出の有無	工事計画書・届出書の確認	工事計画書の作成、提出	○
			届出書の作成、提出	○
			再資源化の促進	○
			再資源の使用	○
			分別解体等	○
		マニフェストの作成	マニフェスト管理状況	○
		廃棄物の分別	一般廃棄物・産業廃棄物の分別状況	○
騒音規制法	当該工事における規制基準の遵守・適用の有無	作業敷地境界での規定騒音値の確認	規定騒音値以下になるよう、施工方法を検討	○
		作業時間帯の確認	工事計画を立て事前に確認する	○
振動規制法	当該工事における規制基準の遵守・適用の有無	作業敷地境界での規定騒音値の確認	規定騒音値以下になるよう、施工方法を検討	○
		作業時間帯の確認	工事計画を立て事前に確認する	○
浄化槽法	浄化槽の設置及び廃止	事前協議及び届出書の確認	有資格者の確認	○
			事前協議による確認	○
			届出書の作成・提出	○
建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○
	第25条第1項	主任技術者の設置		○
	第25条第2項	監理技術者の設置		○
水道法	第25条の2	指定給水装置工事事業者の指定	給水装置工事主任技術者	○
	上水道管布設及び管理	事前協議及び届出書の確認	有資格者の確認	○
			事前協議による確認	○
			届出書の作成・提出	○
下水道法	公共下水道への排水 下水道管布設及び管理	事前協議及び届出書の確認	有識者の確認	○
			事前協議による確認	○
			届出書の作成・提出	○
建築基準法	居室の換気設備	設計書及び設計図にて確認	居室の24時間換気設備の設置	○
環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力(温室効果ガス抑制措置)	EA21の取組	○
グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)	第5条	事業者の責務(国等の施策への協力等)	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○
改正フロン排出抑制法		3カ月ごとのエアコンの点検	点検実施書面の保管、3年の保管	○

### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

## X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2023年10月31日

1・見直し 関連情報	項 目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 二酸化炭素排出量、建設現場のガソリンが未達、混合廃棄物のリサイクル率未達
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実績の把握を続け、目標や運用方法を見直していく。
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	8 その他( )	<input type="checkbox"/>

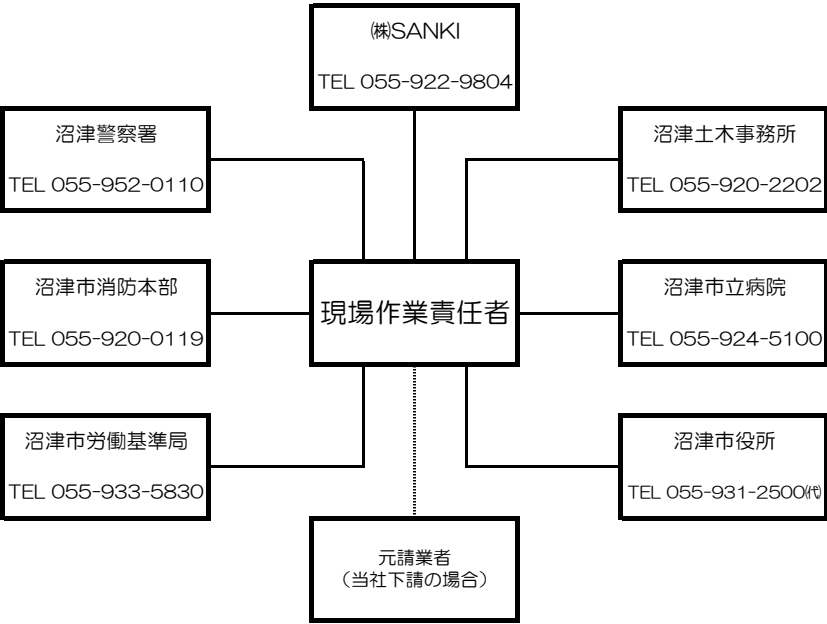
2・代表者による 全体評価・見直し 指示	<p>事務所内での電気や水道使用に関しては、各々削減を心がけ、徹底できている。更に、電気の購入削減のため、太陽光発電設置を検討している。</p> <p>管・ホースなどは仮設用として使用できるので、リサイクルし、次の現場で使用するなど徹底していく。無駄のない購入と、余分に出た部材等の返品により、在庫の削減を徹底。その年によって現場が様々なため、ガソリンや、産廃排出量などは実績を把握していく。</p> <p>社員の資格取得を継続し、合格者が増え、経営審査の点数UPにつながった。</p> <p>電子マニフェストに完全移行し、ペーパーレス、発行の手間の削減につながっている。</p> <p>インボイス制度、電子帳簿保存法開始に伴い、ソフトの導入をしたため、運用を開始し、今後はペーパーレスにより一層環境配慮を進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">2023年10月31日 株式会社 SANKI 代表取締役 芦澤 剛彦</p>		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 環境マネジメントシステム	<input checked="" type="radio"/> 有・無	電子帳簿保存法に伴った社内でのシステム作りを行っていく。
	6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	



〔6〕 緊急事態への準備及び対応

※ 大雨・出水・強風等の異常気象で災害発生の恐れのある場合は、次の組織構成で対応する。  
（警報発令時は作業を中止し、現場内のパトロール等を行い、災害・事故防止に努める）

緊急時の組織構成



1. 現場作業責任者は災害・事故発生時、災害・事故状況を正確に把握する
2. 会社に連絡する
3. 元請業者に連絡（当社が下請の場合）
4. 必要がある場合、所轄官庁関係部署への連絡
5. 必要がある場合、立入禁止措置等を講ずる
6. 必要がある場合、近隣住民に避難を促す
7. 必要がある場合、作業員に避難を促す
8. 可能な場合、現場にて対応措置を講ずる

緊急事態の想定結果及び対応策と検証結果

緊急事態の想定結果	対応策	検証結果
混合廃棄物ゴミコンテナBOXからのゴミの飛散	・ シートによる養生実施	良好の為、継続する
	・ 強風時はシートが捲れないようにロープで押える	良好の為、継続する
	・ こまめにゴミコンテナBOXの量を確認する	良好の為、継続する
工事箇所における漏水事故	・ 漏水発生時、漏水箇所・漏水状況を速やかに確認する	良好の為、継続する
	・ 周囲に影響が出る場合は、所轄官庁関係部署へ速やかに連絡する	良好の為、継続する
	・ 断水作業の場合は、関係部署に連絡するとともに影響範囲の確認を行う	良好の為、継続する
	・ 漏水状況・復旧作業状況・復旧完了状況を写真等で記録する	良好の為、継続する
建設副産物等収集運搬時の飛散・落下事故	・ 積荷の飛散・落下防止の為、ロープ等で荷をくくると同時に養生を行う	良好の為、継続する
	・ 積荷によりシート養生を行う	良好の為、継続する
	・ 法定速度を守り、安全運転を心掛ける	良好の為、継続する
	・ 法定積載荷重の厳守（過積載走行の禁止）	良好の為、継続する

※安全訓練講習会

実施日： 2023年7月4日

参加人数： 8名

訓練内容： ・正しい制服、保安帽の着用 ・作業時の事故防止、周囲への安全確認  
・危険個所の察知、危険防止策 ・通行止め区間の住民への配慮 について

訓練結果： 安全について手順通り再確認できた。  
大きな問題や課題等もなく、今回の対応策を継続して行っています。

〔6〕 緊急事態への準備及び対応

①個別対応事項

緊急事態の想定及び対応策

緊急事態の想定結果	対応策
混合廃棄物ゴミコンテナBOXからのゴミの飛散	・ シートによる養生実施
	・ 強風時はシートが捲れないようにロープで押える
	・ こまめにゴミコンテナBOXの量を確認する
混合廃棄物ゴミコンテナBOXからの たばこの投げ入れ等による出火	・ 初期消火が速やかにできるよう消火器の場所の確認
	・ 消火器使用方法の確認
工事箇所における漏水事故	・ 漏水発生時、漏水箇所・漏水状況を速やかに確認する
	・ 周囲に影響が出る場合は、所轄官庁関係部署へ速やかに連絡する
	・ 断水作業の場合は、関係部署に連絡するとともに影響範囲の確認を行う
	・ 漏水状況・復旧作業状況・復旧完了状況を写真等で記録する
建設副産物等収集運搬時の飛散・落下事故	・ 積荷の飛散・落下防止の為、ロープ等で荷をくくる
	・ 積荷によりシート養生を行う
	・ 法定速度を守り、安全運転を心掛ける
	・ 法定積載荷重の厳守（過積載走行の禁止）

②共通事項

- 1、現場作業責任者は災害・事故発生時、災害・事故状況を正確に把握する。
- 2、会社に連絡する
- 3、元請業者に連絡（当社が下請の場合）
- 4、必要がある場合、所轄官庁関係部署への連絡
- 5、必要がある場合、立入禁止措置等を講ずる
- 6、必要がある場合、関係部署や、近隣住民に連絡

③訓練記録と検証結果

※安全訓練講習会

- 実施日： 2023年7月4日
- 参加人数： 8名
- 訓練内容： ・ 正しい制服、保安帽の着用 ・ 作業時の事故防止、周囲への安全確認